

文部科学省実施 令和3年度 先導的なオンライン英語研修実証事業 (中・高等学校教員プログラム) 実施報告

文部科学省では、全国的に英語教育の水準を向上していくために、教師が専門性を磨くことができる機会の地域間格差の解消や、コロナ禍における状況でも教師が学び続ける機会の確保に向け、オンラインを効果的に活用した英語指導力向上のための研修を実施し、また、研修を通して得られた成果や課題を分析し、オンラインによる研修の効果や研修の在り方等について検証するため、「先導的なオンライン英語研修実証事業(中・高等学校教員プログラム)」を実施した。本事業への参加について、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校は、一般財団法人日本私学教育研究所がとりまとめた。

実施概要

- ★会 期 令和3年7月～令和4年2月の期間中の14時間程度
- ★会 場 オンライン研修(オールイングリッシュ)
- ★参加人数 119名
※都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校の英語科教諭対象
- ★受 託 先 ケンブリッジ大学出版

★プログラム

- ①集合研修(O TE)＜受講時間：4時間＞
基本理念やプログラムの進み方について、Zoomを用いた双方向型の研修を受講する。
- ②オンデマンドeLearning(CLMS)＜受講時間：1時間×2回＞ 下記から2コースを選択して受講する。
 - ・Foundation(今年度初参加者)
(1)The role of the teacher (2)Developing speaking skills (3)Teaching communicatively
 - ・Developing(昨年度修了者)
(1)Giving feedback (2)Teaching mixed ability classes (3)Using projects with teenagers
- ③講義(Webiner)＜受講時間：1時間×4回＞
 - ・Foundation (1)意味伝達に焦点を当てたタスク (2)発信のための語彙指導
(3)生徒の学習成果の評価とフィードバック (4)学習評価
 - ・Developing (1)リサーチ準備 (2)結果のふりかえり
- ④課題研究会(Tutorial)＜受講時間：1時間×2回＞
リアルタイムでチューターと対話し、ポートフォリオ作成のヒント、アクションリサーチの探り方等に関してディスカッションする。
- ⑤ポートフォリオ
プログラム全体を通して学んだこと、各プログラムで学んだこと、授業で実践したことや振り返りを記録し、ポートフォリオを作成する。

参加者の声

- ・理論と実践のバランスが良かった
- ・双方向型オンライン研修の形式が、授業の参考になった
- ・今回のオールイングリッシュの研修が自身の英語力向上にも繋がった
- ・オールイングリッシュの研修が少なかったため、今後もこういった研修があったら参加したい

※先導的なオンライン研修実証事業は、令和4年度も実施を予定しております。